

きんもくせい

令和元年12月13日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 増田 真澄
(磐田市立城山中学校)

「還る家」

静岡県養護教諭研究会 幹事 加藤 美紀

「加藤先生のいる保健室が 僕の私の 還る家」

これは、以前心理カウンセラーの富田富士也氏の講演を聴いた際、購入した著書に書いていただいたメッセージです。講演の中で、「弱音こそ本音」「安心して弱音をはける場所」「肯定感に包まれた場所」それが「還る家」だと言われました。

本校の保健室には毎日のように悩みを抱えた生徒が来室します。泣きながら来室する生徒。「先生聞いて」と愚痴をこぼす生徒。「頭にきた!!」と怒りをぶつけてくる生徒……。近年子供たちを取り巻く環境が複雑になり、ストレスを抱えている生徒が多くなってきていると思います。「親には心配かけたくないから言えない。」という生徒もいます。苦しんでいるときや悩んでいるとき、解決策は見つからなくても、口に出して吐き出すことでスッキリすることも多いと思います。私自身も、友人や仲間聞いてもらってスッキリしていることが多くあります。

3年前、本校に赴任した際、普段悪態をついていた父子家庭の男子生徒に「俺、先生の息子にしてくんない。」と言われたことがあります。「しょうがないなあ、うちの三男にしてやるよ。」という会話をしました。彼は「母さんいた方がいろいろと話ができるし楽しいじゃん。」と言っていました。本音だったのだと思います。

学校にはいろいろな家庭環境の生徒がいます。また、担任や学年部の先生方に気持ちを上手に伝えることが難しい生徒もいます。そんな時、生徒の思いをくみ取りながら先生方に伝え、生徒と先生のつながりが保てるようにサポートし、すべての生徒の「学校のお母さん」として、生徒たちの気持ちに寄り添い、私のいる保健室（私自身）が、生徒にとって安心して弱音を吐ける場所「還る家」になるようにしていきたいと思っています。



地区紹介

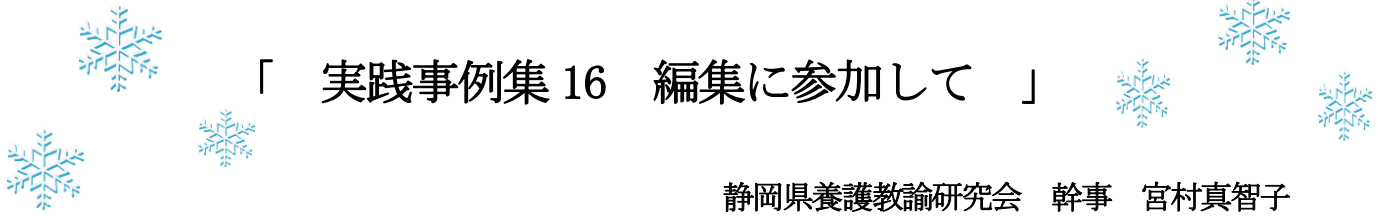
榛原地区

榛原地区は、牧之原市、吉田町、川根本町の小学校 16 校（町対応複数配置 1 校）、中学校 6 校（複数配置 1 校）の会員数 23 名で組織されています。

「しなやかに人とかわりながら前向きに生きていこうとする子～保健室からのアプローチ～」を研修テーマとし、年間 3 回の全体研修会を開催しています。規模別、校種別のグループ研修では、グループごと「願う子ども像」をイメージし、それに迫るための「つけたい力」を考え、「保健室からのアプローチ」の方法を探りながら研修を深めています。

また、講話では、静岡大学非常勤講師の山口久芳先生をお招きし「近未来の教育を考える～key person は養護教諭～」と題してお話をいただきました。多様性が求められる世の中で、子どもの心に寄り添い、適切に対応することができるよう、知識・技能を習得していきたいと感じました。仲間とのつながりを大切に、さらに研修を深めていきたいと思っています。





「 実践事例集 16 編集に参加して 」

静岡県養護教諭研究会 幹事 宮村真智子

実践事例集 16 の編集委員として、編集に携わりました。静岡県養護教諭研究会のテーマ『養護教諭の職務を広げ つなぎ 深めよう』を受け、監修者である林典子先生と事例集編集委員で大項目を決定し、編集作業を開始しました。

私のグループに任せられたページは 39 ページ、全くの白紙からのスタートです。編集委員のメンバー 4 人の頭の中も真っ白でした。どうしようと悩んでいたときの味方が、今まで発刊された実践事例集でした。何度も何度も参考にして、会員の皆さんに少しでも役に立つ事例集になるように編集を進めていきました。

2 年間で編集作業は 11 回。あっという間でした。各地区から提供していただいた実践を編集し校正する。完成までには、何回も何回も見直しをしました。本当に大変な作業でしたが、やればやるほどアイデアが浮かび、笑顔も増え、編集委員の思いが詰まった事例集に仕上がりました。

事例集の基本を一から教えてくださった林典子先生、ありがとうございます。編集作業では、「それいいね。」と、いつも背中を押してくれた編集委員長、そして、「大変だったけど、このメンバーで仕事ができ楽しかったよ。」と、声をかけてくれた編集委員の皆さんありがとうございます。そして、今まで事例集に携わってくださった先生方、ありがとうございます。

多くの先生方の素晴らしい実践と熱い思いを詰め込んだ実践事例集 16 です。この実践事例集 16 が会員の皆さんの日々のお仕事に少しでも役に立てたらうれしいです。



実践事例集 16 発刊 「養護教諭の have to

～養護教諭としての不易な活動を考える～

監修の林先生、事例提供者の皆さん、そして、編集委員の思いがたくさん詰まった事例集、お手元に届きましたか？ 日常の執務の振り返りや、新たな取り組みに是非お役立てください。

～ 実践事例集 16 編集委員の言葉 ～

第2章 第1節：一日の活動の流れ

- ◇不易な活動？と、精選する作業が難しかったですが、多くの学びを頂き、感謝一杯です。
(蛭塚中 今井真衣)
- ◇養護教諭の職務や自分の日々の活動について振り返り、改めて考える機会になりました。
(大洲小 田平幸子)
- ◇多くの素晴らしい実践事例の編集に携われたことは、大変貴重な経験になりました。
(横須賀小 落合美芳)



第2章 第2節：月の活動の流れ

- ◇ポイントは『事前準備』です。委員として多くを学ばせていただいた 2 年間でした。
(勝間田小 陶山真由子)
- ◇事例集に載せきれない沢山の不易な活動について情報交換でき、貴重な時間となりました。
(仁科小 森本静香)
- ◇真っ白だった紙が、日を追うごとに少しずつ色がついていくことが嬉しかったです。
(中田小 小田由貴子)
- ◇事例集は多くの先生方の実践の集大成。その編集に携わることができ、とても光栄でした。
(沼津高等学校中等部 古屋美礼)

第3章：活動のノウハウ

- ◇他地区の先生方と一緒に編集を進めることができ、大変有意義な時間となりました。
(浅羽東小 木野晶美)
- ◇必読に値する内容です。日々対面している児童生徒へ還元していただけたら幸いです。
(大富士中 中島由紀江)

- ◇自己流になっていた執務の見直しだけでなく、新たな工夫のヒントを見つけられるような事例集となりました。
(実践事例集 16 編集担当 杉山・宮村・宮谷)

